

第60回国民体育大会剣道競技結果

第1試合場			
確	本部記録	戦評	記録
認	宮本	片山	芦田

22

(成年男子)

平成17年10月26日(水)		第32試合		1回戦	2回戦	3回戦	4回戦	準決勝戦	3位決定戦	決勝戦
主審	都道府県	順	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	勝者数	総本数	勝敗
太田欣之	埼玉	氏名	坂本	米屋	菊地	中野	山中	1	1	×
		試合	1 反相 2 則殺 3 回回	1 反相 2 則殺 3 回回	1 ✕ 反相 2 一本勝 則殺 3 回回	1 反相 2 則殺 3 回回	1 反相 2 則殺 3 回回			
副審	岡山	経過	3 反相 2 コ 則殺 1 ド 回回	3 延長 反相 2 則殺 1 ✕ 1 回回	3 反相 2 則殺 1 回回	3 延長 反相 2 則殺 1 コ 回回	3 反相 2 則殺 1 回回	3	4	
菅波一元 作道正夫		氏名	勝見	鈴木	横田	山根庸	山根大			
時間		4分 05秒	7分 16秒	5分 00秒	5分 21秒	5分 00秒				

戦評
前年度優勝の埼玉と地元の期待を背負う岡山との注目の一戦。先鋒戦、岡山勝見がはつらつとした動きを見せ、積極的に技を仕掛け、鏝競り合いから切れの良い引き胴で一本先取。二本目に入り埼玉坂本も激しい攻めを見せるが、間合に明るい岡山勝見が竹刀を払って小手に出ると見事に決まった。続く次鋒戦は一進一退の息詰まる熱戦となった。延長に入り埼玉米屋にも惜しい技が見られたが一本にならず、逆に良く凌いでいた岡山鈴木が気力を込めて攻め込み面に跳び込み勝負あり。中堅戦、後のない埼玉菊地は岡山横田の果敢な攻めを冷静に対処し、相手の打突後の一瞬の隙を逃さず面を決め、副将に望みを託す。副将戦、岡山山根庸は、埼玉中野の上段に構えに対し、変幻自在な動きで集中させない。延長戦に入り、埼玉中野が不用意に間合を詰めたところに岡山山根庸が鋭く小手を決め岡山の勝利が決まる。大将戦はお互いに決め手なく引き分け。優勝候補同士の熱のこもった戦いぶりは観衆を引き付けるものがあった。